



新潟事務所技術一課

多田 恵里さん

工学部建設学科卒 入社2年目

入社1年目で長寿
命化基本計画策定
に参加

オリジナル設計は、上
下水道を軸に、国内外
で社会インフラの整備や
維持管理などに必要な
ノウハウを提供している建
設コンサルトです。
新潟事務所技術一課で
は、主に下水道管きよの
実施設計や耐震設計、長
寿命化計画、企業会計移
行に係わる業務を行って
います。

入社1年目には、流域
下水道の長寿命化基本計
画の策定に携わりまし
た。長寿命化基本計画の
業務は、新潟事務所では
初めてのことで、自分で
ゼロから考えなければな
らず、慣れない統計や数

学の勉強をしながら行い
ました。大変な作業でし
たが、仕事の進め方の重
要な点を学ぶことが出来

若手社員も幅広く挑戦

一人ひとりを大切にしている会社

ました。現在は、1年目
とは別処理区の長寿命化
基本計画の策定業務と並
行し、複数のメーカーが
研究した下水道マンホー
ルポンプ施設の改築計画
に関する内容を技術資料
にまとめる業務に携わっ
ています。幅広い知識を
身につけるためにも、人
脈を形成することは大切
だと感じています。

ゼネコンとコンサル
ルで悩んだ就活

私は、高等専門学校で
土木工学を学ぶなかでコ
ンクリート工学に興味を
持ちました。コンクリー
ト工学の中でも、セメン
トの水和モデルについて

若手主体で新卒採
用活動

追究したいと思い、この
研究を専門とする教授の

いる大学に編入しまし
た。下水道関係の仕事に
就きたいと思ったのは、
下水道は、土木工学のな
かでも、地盤工学、コン
クリート工学、計画学な
ど、他分野とのつながり
が強い総合科学であるこ
とが魅力だと思ったから
です。

就職活動を始めた当初

は、ゼネコンと建設コン
サルタントのどちらに就
職しようかと悩みまし
た。ゼネコンは、コンク
リートを現場で施工でき
る一方、1日中外で指示
を出すような体力に自信

がなかったので建設コン
サルタントを選びました
が、その中でも上下水道
コンサルトに就きた
いという思いが強まった
ときに、教授に勧め
られたのがオリジナ
ル設計です。

想像力が重要
と教えてくれ
た会社

教授が紹介してく
れた先輩に問い合わせ
せると、「この

業界で最も重要なのが想
像力。想像力は鍛えれば
つくもの」「女性はコミ
ュニケーション能力が高
く、周囲と協調して仕事
を進めるのが得意なので
段取りや調整に長けてい
る」と言われたことを今
でも覚えています。この
言葉が会社を選んだきっ
かけとなりました。

学生時は、建設コンサ
ルト会社とは、ただ
図面を作成する会社だと
思っていました。コン
サルタントの真髄は、社
会資本を整備する際に生
じる様々な課題に対して
問題点を解決するための
方策を顧客に提示するこ
とであり、想像力が重要
だと教えてくれた会社は
初めてでした。

オリジナル設計は、社
員一人一人を大切にしてい
くれる会社です。学生の
皆さん、ぜひ一緒に働き
ましょう！



新卒採用活動に参加する
多田さん(右)